

民児協いばらき

☆民生・児童委員バッヂはしあわせのクローバーに「み」の文字と双葉で鳩をかたどり愛情と奉仕を表しています

2008年(平成20年)6月15日 第61号



夕焼けの筑波山

押久保忠夫 前編集委員 撮影

目次

- | | | | |
|------------------------|---|-------------------|---|
| ● 会長あいさつ…………… | 2 | ● 新役員紹介…………… | 5 |
| ● 就任あいさつ(鯨井副会長)…………… | 2 | ● 平成20年度県民児協事業計画 | |
| ● 就任あいさつ(県保健福祉部長)…………… | 3 | ・ 予算…………… | 6 |
| ● 就任あいさつ(県福祉指導課長)…………… | 3 | ● 平成19年度決算報告…………… | 7 |
| ● 地区民児協だより | | ● 事務局だより…………… | 8 |
| ・ 那珂市…………… | 4 | ● 編集後記…………… | 8 |
| ・ 桜川市…………… | 4 | | |

第2次 民生委員・児童委員発

災害時一人も見逃さない運動 展開中

「広げよう 地域に根ざした

思いやり」をすすめるにあたり



県民児協会長 高木 彦 治

昨年十二月の一斉改選により、県民児協も役員改選があり、各理事の推せんにより再任され、二期目を引き受けることになりました。

その責務の重大さを痛感しております。幸い、副会長として、落合氏、橋本氏共々留任され、鯨井副会長が新任され、前任の北条副会長同様、気心の知れた優秀なる方々が補佐してくれる体制で三年間運営できると確信しております。

さて、昨年民生委員制度創設九十周年記念大会が、武道館において盛大に開催されましたことは記憶に新しいところです。同大会では、民生委員制度創設九十周年活動強化方策「広げよう 地域に根ざした 思いやり」一〇〇周年に向けた民生委員・児童委員行動宣言が採択されました。それに基づき、住民の立場に立った活動の一層の推進と、安心して住み続けることができる地域社会づく

り、孤立・孤独をなくす運動、児童虐待や犯罪被害などから子供を守る取り組みを、重点的にすすめることを宣言しました。

茨城県民児協は全民児連に先がけて、児童福祉部会を立ち上げ、県内六ブロックに主任児童委員連絡会が組織され、活発に活動をしているところであります。

今後は、民生委員・児童委員と主任児童委員が協働で、児童問題に取り組んで活動することが期待されております。また、民生委員・児童委員の活動も、地域における新たな支え合い、住民と行政の協働による新しい福祉づくりを協議し、住民の多様なニーズに対応できる体制と知識が求められておると思います。県内各委員の方々には、県民児協運営に関し、要望、ご意見等がありましたらご提言をいただき、よりよき県民児協の発展に、ご協力、ご支援をお願い申しあげ、あいさついたします。

副会長就任挨拶



県民児協副会長 鯨 井 登美子

「花咲き、月は移ろい…」昨年十二月一日の一斉改選に伴い、県民児協理事会の推せんにより、前北条副会長の後任として拝命しましたが、役職の重大さをひしひしと感じております。高木会長、落合・橋本両副会長のご指導をいただきながら微力でございますが、県民児協の発展のため誠心誠意運営に努めてまいりたいと思っております。皆様のご支援、ご協力、よろしくお願い申し上げます。

さて、新体制の中、各民児協においても活動の強化を図られておることと思いますが、常に種々の研修会への積極的参加、地域活動での状況報告、委員同士の意見交換を密にし、「広げよう 地域に根ざした 思いやり」のスローガンのもと、地

域の人間関係が希薄化している。今、人と人とのつながりや、孤立しがちな高齢者、児童虐待問題や悪質商法被害の問題などの現在社会を、私たち民生・児童委員は原点にたしかえり、組織づくりをしていくなかで活動強化を図っていかれたらと考えております。

民生委員法十五条には民生・児童委員に課せられた「秘密を守る義務」、これを皆様と共にしっかりと守り、地域見守り活動にあたって行きたいと願っております。論語で孔子が言っております「民は信なくば立たず」、この言葉を肝に銘じて、微力ながら努力してまいります。皆様のご指導をよろしくお願いし、挨拶いたします。

人が輝く元気で住みよい



県保健福祉部長 山口 やちる

いばらきづくりをめぐって

初夏の候、民生委員・児童委員の皆様方におかれましては、ますます御清祥のこととお喜び申し上げます。

高木会長さんをはじめ、皆様方は日頃から地域福祉の向上に多大なる御支援助と御協力を賜り心から感謝申し上げます。

さて、これまでに経験したことのない少子高齢社会を迎え、県民の保健福祉行政に対するニーズは、ますます高度化・多様化しております。

そのため、県といたしましては、「人が輝く元気で住みよいいばらきづくり」を目標に掲げ、「安心な暮らしを支える保健・福祉・医療の充実」、「平穏で安全に暮らせる社会づくり」の実現に向けて、様々な施策を展開しているところであります。

特に、県の重要課題の一つでもあります少子化対策につきましては、多子世帯への経済的支援や子育て

援企業の普及促進、保育所を活用した育児相談の実施など、結婚・出産・子育てに夢や希望の持てる環境づくりに取り組んでまいります。

また、高齢者対策につきましては、第3期いばらき高齢者プラン21に基づき、介護サービス基盤の充実を図るほか、シルバリーハビリ体操の普及などと合わせ、社会参加のための相談窓口や人材バンクの一層の充実などに努め、高齢者がいきいきと活躍する健康長寿社会づくりを推進してまいります。

こうした施策の推進にあたっては、住民の立場に立った活動をされている皆様方の御協力が不可欠でございます。今後とも、本県の地域福祉の向上により一層の御尽力を賜りますことをお願いいたしますとともに、皆様の御健勝を心からお祈り申し上げます。

地域福祉の推進について



県保健福祉部参事兼
福祉指導課長 渡辺 洋子

民生委員・児童委員の皆様方には、日頃から地域の方々に対する様々な相談や援助活動を通して、社会福祉の向上に多大なる御尽力をいただき、深く敬意と感謝の意を表します。

さて、近年、急速な少子高齢化や家族形態の変化、都市化や個人の価値観の多様化などにより地域の相互扶助機能が弱体化するなど、福祉を取り巻く環境は大きく変化してきています。

こうした中で、高齢者や障害者が可能な限り住み慣れた地域で過ごせるように在宅生活支援サービスの充実を図って参りましたが、従来の公的福祉サービスだけでは対応できない福祉課題が増えてきており、地域における支え合いを推進させていく必要性が一層高まっているところでございます。

県といたしましても、地域住民の参加により軽易な家事援助や身辺の

介護を有償ボランティアとして提供する在宅福祉サービスセンターの設置、福祉サービスの利用援助や日常的な金銭管理を行う日常生活自立支援事業の普及を図るなど、地域福祉の推進に積極的に取り組んでいるところであります。

このような中、昨年12月には民生委員・児童委員の一斉改選が行われ、地区担当委員と主任児童委員を併せて五一六九名の方が、厚生労働大臣から委嘱されました。

今日の福祉課題の解決のためには、住民の身近なところで問題を発見し、支援につなげる民生委員・児童委員の役割が益々重要なものとなっております。

皆様方には、今後とも地域福祉の中心的な担い手として、互いに助け合い、いきいきと安心して暮らせる地域社会づくりのため、より一層の御尽力を賜りますようお願い申し上げます。

地区民児協だより

那珂市

那珂市連合民児協の活動について

那珂市連合民児協副会長 神尾多門

那珂市連合民児協は、平成十七年四月、旧那珂町・瓜連町民児協が合併して発足、現在、那珂第一地区民児協(46名)、那珂第二地区民児協(35名)、瓜連地区民児協(24名)の三地区民児協(105名)で構成されています。

それぞれの地区民児協の活動を尊重しながら、「支え合う地域福祉」の実現を目指し、共通の目標、(一)情報の共有と連携しての活動、(二)研修の充実、(三)地域福祉活動の推進を掲げ、互いに切磋琢磨しながら活動をしています。

市連合民児協では、毎月「民児協だより那珂(通算78号)」を発行、日常の行事、活動等の情報の共有をはかっています。お陰で、連合民児協の発足に際しても違和感なく合併することができました。また、日頃の活動でも、総会の他に県外視察研修、事項別研修、一月の新年会を兼ねた定例会など合同で行う行事が多くなっています。

各地区民児協では、市社会福祉協議会と連携、高齢者を中心とした「いきいきサロン」の立ち上げや運営に関ったり、「災害時一人も見逃さない運動」の一環として、市や社会福祉協議会と連携、要支援者のネットワークづくりを進めています。

なかでも瓜連地区民児協は、全員が日赤奉仕団に加入、各種の講習会を受講、市内小学校でのアイマスク・車いすの「疑似体験学習」の指導や、「地区の自主防災会」の活動などにも関わっています。



桜川市

町村合併後の委員相互の研修交流を目指して

桜川市民児連合協会会長 久下英一

茨城県の中西部・栃木県に隣接する桜川市は、平成十七年十月に岩瀬・大和・真壁の三町村が合併して誕生。人口は四万八千五百人、高齢化率は二十四%で、石の街・蔵の街として知られています。

私たちの連合協議会は、この町村合併に伴い、岩瀬・大和・真壁の民生委員児童委員百名が、相互の調査研修と資質の向上に努め、単位民児協の活動に関する調整を行い、地域社会の福祉の増進に資することを目的に、平成十八年四月に設立されました。

連合協議会の運営は、市の補助金で賄われ、年一回の総会のほか単位民児協役員の研修、主任児童委員連絡会の支援、全体研修会での事項別分科会及び講演会の開催、全戸に年二回配布する広報紙「民児協さくらがわ」の発行などの事業を行っています。

今年二月の全体研修会は、百名の委員が社会福祉、障害福祉、高齢福祉、児童福祉の四つの分科会に別れ、自己紹介のあと定められた研修課題をテーマに、日頃の活動の報告と意見の交換を行い、その内容を分科会所属の広報委員が記録、全体会で報告をしました。午後の講演会は、「民生委員児童委員活動と個人情報保護について」

をテーマに川上富雄先生(岡山県川崎医療福祉大学講師)を講師に招き有意義な話を分かりやすく説明して頂きました。ちなみに先生は、信頼関係に基づく民生委員児童委員活動のために、「過剰反応」が問題となっている個人情報保護法について、全市民児連の委嘱を受け、二カ年にわたり個人情報報の取り扱いに関する検討を行い、学習資料としての報告書をまとめられた方です。

当協議会では、今後合併後の委員相互の親睦交流を深めながら、「地域に根ざしたおもいやり」の活動を進めていきたいと考えています。



役員紹介

民生委員児童委員の一斉改選により任期満了となった役員の改選が行われ、平成二十年二月開催の理事会及び評議員会において、次の方々が選任されました。(理事の茨城県福祉指導課長は四月一日付、牛久市選出の評議員は五月十九日付)

役員

- 会長 高木 彦治 (鹿嶋市)
- 副会長 落合 勇 (筑西市)
- 理事 橋本 重男 (ひたちなか市)
- 理事 鯨井登美子 (下妻市)
- 理事 渡邊 和雄 (水戸市)
- 理事 鈴木 廣 (日立市)
- 理事 黒田 光夫 (土浦市)
- 理事 七井 康彰 (常総市)
- 理事 福井 ふみ (笠間市)
- 理事 滝野 忠男 (取手市)
- 理事 宮本 勇 (つくば市)
- 理事 長谷川 彌 (潮来市)
- 理事 平塚 勇 (常陸大宮市)
- 理事 宮島 孝明 (つくばみらい市)
- 理事 渡辺 洋子 (茨城県)
- 理事 五十畑まち子 (水戸市)
- 理事 今枝 力 (龍ヶ崎市)
- 理事 岸 三男 (那珂郡)

評議員

- 〔水戸市〕 大内 元一、矢田部秀夫、飯村 義雄
- 〔日立市〕 瀬尾 政明、石川美枝子
- 〔土浦市〕 赤根 益男、細野 文哉
- 〔古河市〕 関 吉三
- 〔石岡市〕 平井 純子
- 〔結城市〕 河田 善吉
- 〔龍ヶ崎市〕 寺崎袈裟枝
- 〔下妻市〕 砂古 武
- 〔常総市〕 中山美代子
- 〔常陸太田市〕 朝日 光臣
- 〔高萩市〕 関根 利雄
- 〔北茨城市〕 山田 光雄
- 〔笠間市〕 瀬畑 洋子
- 〔取手市〕 小林 芳邦
- 〔牛久市〕 茂木善次郎
- 〔つくば市〕 印南 光子、慶野多美子
- 〔ひたちなか市〕 荒井 文雄、神保 忠正
- 〔鹿嶋市〕 大槻 光夫
- 〔潮来市〕 植田 義継
- 〔守谷市〕 吉田 讓三
- 〔常陸大宮市〕 木村 理子
- 〔那珂市〕 初田 義雄
- 〔筑西市〕 青木 定子
- 〔坂東市〕 木村 英男
- 〔稲敷市〕 坂本 吉弘
- 〔李崎市〕 安田 和夫
- 〔桜川市〕 久下 英一
- 〔神栖市〕 人見 隆
- 〔行方市〕 横瀬 藤雄

部会・専門委員会

※◎は部会長及び委員長

○は副部会長及び副委員長

総務委員会

- 委員 ◎落合 勇
- 委員 ○黒田 光夫
- 委員 渡邊 和雄
- 委員 鯨井登美子
- 委員 早川 忠雄
- 委員 福井 ふみ
- 委員 宮島 孝明
- 委員 ◎平塚 勇
- 委員 ○青木 定子
- 委員 鈴木 廣
- 委員 鈴木 恭子

編集委員会

- 委員 ◎橋本 重男
- 委員 ○清水 愛子
- 委員 杉下 赫子
- 委員 七井 康彰
- 委員 丸山 隆文
- 委員 長谷川 彌
- 委員 初田 義雄
- 委員 宮本 勇

世帯更生推進部会

- 委員 ◎滝野 忠男
- 委員 ○大内 元一
- 委員 瀬尾 政明
- 委員 印南 光子
- 委員 左近 政子

児童福祉部会

- 委員 ◎佐藤 登
- 委員 平井 純子
- 委員 寺崎袈裟枝
- 委員 関根 利雄
- 委員 橋本 重男
- 委員 落合 勇
- 委員 ○平井 敬子
- 委員 鈴木 正義
- 委員 菊池 正文
- 委員 坂本 幸子
- 委員 高橋 一夫
- 委員 鈴木 龍穂

互助事業運営委員会

- 委員 ◎平塚 勇
- 委員 ○青木 定子
- 委員 鈴木 廣
- 委員 鈴木 恭子

平成20年度 県民児協事業計画・予算

1 運営方針

近年は、「少子高齢社会」「人口減少社会」が進むなか、国民が安心して暮らせる社会保障制度の充実が求められています。

また、高齢化の進展に伴い、福祉・介護ニーズの増大を支える人材の安定的な確保など基盤整備についても急がれています。

このようななか、民生委員・児童委員は、孤立し深刻な課題を抱えている高齢者世帯・子育て家庭等を発見した場合、行政や専門機関につなぎ、福祉サービスの利用や支援につないでいくとともに、ひとり暮らしの高齢者や障がい者など災害時要援護者の把握や避難時の支援が、ますます重要となってきております。

私たちは、民生委員制度創設90周年記念活動強化方

策「広げよう 地域に根ざした 思いやり」のもと、安全で安心なまちづくりをすすめるため、日常的な見守り活動等を通して地域に密着した活動をすすめます。

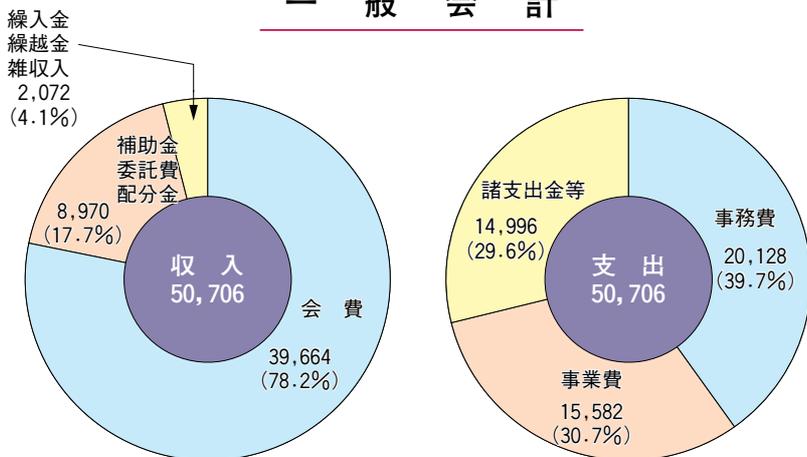
本年度重点目標

- 1 高齢者、障がい者等への見守り、相談・支援活動の強化につとめる。
- 2 課題を抱える子ども・子育て家庭等への個別支援の強化と虐待防止の活動推進につとめる。
- 3 「第2次 民生委員・児童委員発 災害時一人も見逃さない運動」の推進につとめる。

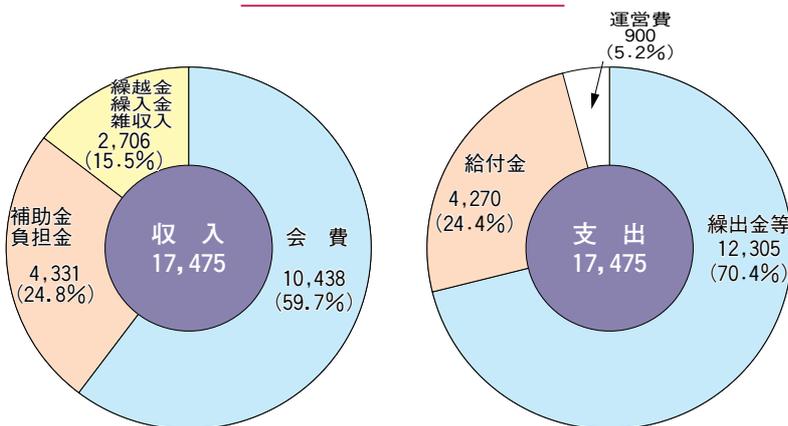
予 算

(単位：千円)

一 般 会 計



互助事業特別会計



事業計画

事項 月	県 民 児 協
4	<ul style="list-style-type: none"> 民児協いばらき編集委員会 総務委員会 児童福祉部会
5	<ul style="list-style-type: none"> 民児協いばらき編集委員会 理事会・総務委員会 (21日) 監事会 (23日) 評議員会 (30日)
6	<ul style="list-style-type: none"> 民児協いばらき (61号) 発行 互助事業運営委員会 市町村民生委員児童委員協議会長及び副会長合同研究協議会 (9～10日 大洗町) (24～25日 大洗町)
7	<ul style="list-style-type: none"> 市町村民生委員児童委員教室 (6月30日～7月1日 大洗町) (7～8日 大洗町) 行政機関との連絡会議 (25日)
8	<ul style="list-style-type: none"> 正副会長会議 総務委員会
9	<ul style="list-style-type: none"> 互助事業運営委員会 主任児童委員研修会 (18日)
10	<ul style="list-style-type: none"> 全体研修会 (3日 水戸市) (10日 つくば市)
11	<ul style="list-style-type: none"> 民児協いばらき編集委員会 第27回茨城県民生委員児童委員大会 (28日 県民文化センター大ホール)
12	<ul style="list-style-type: none"> 民児協いばらき編集委員会
1	<ul style="list-style-type: none"> 民児協いばらき (62号) 発行
2	
3	<ul style="list-style-type: none"> 正副会長会議、総務委員会 理事会、評議員会 互助事業運営委員会

「平成20年度 茨城県民生委員児童委員協議会事業計画・予算」は3月27日(木)に開催された評議員会において議決されました。

平成19年度決算（一般会計・特別会計）

●一般会計収支決算書

1 収入 (単位：円)

科 目	予算額	決算額	摘 要
1 会 費	40,466,000	40,466,400	民生委員児童委員 5,188人
2 補助金	7,226,000	7,226,586	
3 委託費	1,500,000	1,500,000	
4 配分金	800,000	800,000	共同募金配分金
5 繰入金	6,000	64,955	基本財産 利子
6 繰越金	1,750,000	1,932,825	
7 雑収入	2,000	194,792	
合 計	51,750,000	52,185,558	

1 収入総額 52,185,558円
 2 支出総額 50,262,042円
 3 差引残額 1,923,516円 (翌年度へ繰越)

2 支出 (単位：円)

科 目	予算額	決算額	摘 要
1 事務費	20,452,000	20,124,789	
(1) 給与費	17,992,000	17,755,011	職員2名 嘱託1名
(2) 庁費	2,300,000	2,225,348	
(3) 旅費	160,000	144,430	
2 事業費	15,352,000	14,217,098	
(1) 企画 運営費	3,250,000	2,935,918	理事会、評議員会、監事会、 総務委員会ほか各部会及び委 員会、児相・教育事務所等と の連絡会議
(2) 研修費	6,875,000	6,444,899	会長・副会長研究協議会、民 生委員児童委員教室、関東ブ ロック活動研究協議会参加、 全国大会参加、全民児連主催 各種研修会参加等
(3) 調査費	100,000	0	
(4) 共同募金 事業費	100,000	56,700	
(5) 民協活動 推進費	1,202,000	1,108,262	指定民児協助成（日立市、土 浦市、行方市、坂東市） 90周年記念事業ほか
(6) 機関誌 発行費	1,400,000	1,247,000	民児協いばらき 年2回
(7) 表彰費	2,425,000	2,424,319	茨城県民生委員児童委員大会
3 諸支出金	15,812,000	15,811,310	全国互助共助事業会費、全民 児連会費（90周年記念事業拠 金を含む）、関プロ会費、諸 団体会費
4 予備費	134,000	108,845	新潟県中越沖地震見舞ほか
合 計	51,750,000	50,262,042	

●互助事業特別会計収支決算書

1 収入 (単位：円)

科 目	予算額	決算額	摘 要
1 会 費	10,376,000	10,376,000	民生児童委員 5,188人
2 補助金	2,594,000	2,594,000	
3 負担金	1,815,000	1,815,800	
4 繰越金	1,800,000	1,803,448	
5 繰入金	14,800,000	14,800,000	
6 雑収入	2,000	8,853	
合 計	31,387,000	31,398,101	

1 収入総額 31,398,101円
 2 支出総額 28,550,095円
 3 差引残額 2,848,006円 (翌年度へ繰越)

2 支出 (単位：円)

科 目	予算額	決算額	摘 要
1 弔慰給付金	2,000,000	1,430,000	本人死亡 17件 配偶者 25件
2 傷病給付金	1,000,000	740,000	69件
3 災害給付金	300,000	15,000	1件
4 退職給付金	25,650,000	24,069,000	1,567件
5 互助事業 運営費	2,430,000	2,296,095	
6 繰出金	0	0	
7 雑 費	7,000	0	
合 計	31,387,000	28,550,095	

●互助事業積立金特別会計収支決算書

1 収入 (単位：円)

科 目	予算額	決算額	摘 要
1 繰越金	28,177,000	28,178,624	
2 雑収入	5,000	47,490	
3 繰入金	0	0	
合 計	28,182,000	28,226,114	

1 収入総額 28,226,114円
 2 支出総額 28,226,114円
 3 差引残額 0円

2 支出 (単位：円)

科 目	予算額	決算額	摘 要
1 積立金	13,382,000	13,426,114	
2 繰出金	14,800,000	14,800,000	
合 計	28,182,000	28,226,114	

事務局だより

○ 祝受章

この度、民生委員・児童委員の次の方々が、叙勲の栄の浴されました。心からお祝い申し上げます。

○ 叙 勲

瑞宝単光章

高木 彦 治 (鹿嶋市)

平塚 勇 (常陸大宮市)

● 県保健福祉部等(民生委員・児童委員関係)の主な人事異動(平成二十年四月一日付け)

○ 人事異動で次の方々が新たに就任されました。

保健福祉部 部長 山口やちゑ

同 次長 染谷 意

同 同参事兼福祉指導課長 渡辺 洋子

同 同福祉相談センター長 黒澤 正延

同 厚生総務課長 根本 年明

同 障害福祉課長 小見トモ子

同 同筑西児童相談所長 山口 康裕

同 県南地方総合事務所 次長兼福祉課長 鈴木 博

● お知らせ

茨城県民児協が行う研修計画及び県大会予定

○ 市町村民生委員児童委員協議会 会長・副会長合同研究協議会

【県北・鹿行班】

六月九日(月)～十日(火)

大洗シーサイドホテル

【県南・県西班】

六月二十四日(火)～二十五日(水)

大洗シーサイドホテル

○ 市町村民生委員児童委員教室

【県北・鹿行班】

六月三十日(月)～七月一日(火)

大洗シーサイドホテル

【県南・県西班】

七月七日(月)～八日(火)

大洗シーサイドホテル

○ 主任児童委員研修会

【県内全域】

九月十八日(木)

県総合福祉会館

(コミュニティホール)

○ 民生委員児童委員全体研修会

【県北・鹿行班】

十月三日(金)

県民文化センター(大ホール)

【県南・県西班】

十月十日(金)

つくば市民ホールとよさと

○ 第二十七回茨城県民生委員児童委員大会が次のとおり開催されます。

十一月二十八日(金)

県民文化センター(大ホール)

● 児童虐待防止のための地域住民への「呼びかけ文」について

児童虐待については、近年増え続け、子どもの生命にかかわる重大かつ悲惨な事件が繰り返し発生しています。

茨城県民児協といたしましては、児童福祉週間及び民生委員・児童委員の日活動強化週間に合わせ、県内全域の住民及び関係機関に「呼びかけ文」及び「ポスター」の配布を行いました。

民生委員・児童委員の皆様、ご協力ありがとうございました。

● 「新潟県中越沖地震」見舞いに対する感謝状について

昨年七月十六日に発生した「新潟県中越沖地震」の際、被災された新潟県の民生委員・児童委員及び民児協へ、一日も早い復興をお祈りし、茨城県民児協よりお見舞いを贈りましたことについては、「民児協いばらき(第六十号)」で皆様にお知らせいたしました。このたび新潟県民児協会長より感謝状をいただきましたのでご報告申し上げます。

● 社会保険庁からのお知らせ

現在、社会保険庁は「ねんきん特別便」をお送りしています。

加入記録にモレや誤りがないかを十分ご確認いただき、必ずご回答いただきますようご協力をお願いします。お問い合わせは「ねんきん特別専用ダイヤル」へ

0570-058-555

IP電話:PHSからは03-6700-1144

(受付時間 月曜～金曜日午前9時～午後8時 第2土曜日 午前9時～午後5時)

編集後記

一斉改選後の県民児協も、二月から新体制で始動しております。

編集委員会も、七名のうち三名が新しい委員に変わりました。引続き創意工夫して、紙面の刷新と内容の充実に努め、皆さんに親しんで読んでもらえる「民児協いばらき」を発行してまいります。

ご意見ご指導を、よろしくお願ひ申しあげます。

編集委員長 橋本 重男

発行人 財団法人

茨城県民生委員児童委員協議会 会長 高木 彦 治

〒310-0851

水戸市千波町1918

茨城県総合福祉会館内

TEL 029-243-5361

FAX 029-243-5902

E-mail:iba-minjikyo@bz01.plala.or.jp